

「復興支援」の一環として、防災センター体験企画を実施しました！！



3月28日、「東日本大震災復興支援 Week.2018」の一環として、初めて市外の施設を訪れる企画「防災体験ツアー」が実施されました。28名の参加者と同行職員3名が、さまざまな体験を通じて改めて防災意識を高める内容となりました。

朝、もりんぴあを出発し、松戸市にある「千葉県西部防災センター」を訪れました。施設内では、過去に起こった地震を学び、火災や風水害の恐ろしさを教えられました。地震体験ルームでは震度6強の揺れのなか、どういった行動をすべきか、どうやって身を守るかを体験しました。風速30mの暴風雨を体験ルームでは手すりにつかまっていなくてはいけなかったり、呼吸をするのも難しいと実感しました。その他にも、119番への通報を練習する通報シミュレーションや、煙体験、消火器の使い方など通して、防災に対する知識を深め、心構えを養いました。

このような体験をしておく、実際の災害に直面した時に、とっさにとれる行動が変わってくるのではないのでしょうか。

防災センターのあとは、さかえ屋のカステラ工場を見学し、カステラができるまでの工程を学習し、実際に工場内の作業風景をみることができました。バスでの移動の道中、車窓から見える満開の桜が参加者の目を楽しませてくれました。



H30年度の「こどものまち」始動！

3月24日(土)に平成30年度のこどものまちが動きはじめました。この日は、大人実行委員が集まり、委員長の選出や役割分担、今後のスケジュール確認などを行った。



4月28日(土)には、こども実行委員がはじめて集まった。昨年の様子を映像で紹介し、概要を説明したあと、自己紹介が行われ、何をやりたいか話し合った。



5月12日(土)の第2回実行委員では、まちの名称・コンセプト・通貨の名称が話し合われ、今回の名称は「キッズタウンサマーフェスティバル IN NARITA」、コンセプトは「楽しくて自然に笑顔になる町」、通貨は去年に引き続き「スター」となった。

「杜の保健室」、好評開室中です！

国際医療福祉大学の協力により、公津の杜地区と周辺エリアの地域活動の1つとして「杜の保健室」を開室しました。各回、テーマが異なり2月8日に行われた第1回目の杜の保健室では、トレイに1食分のフードモデルを乗せると栄養バランスが目に見える装置を使い、「食事の栄養バランス」について学びました。

6月1日に行われる第2回目の杜の保健室のテーマは、「がんのことを知ろう！ 考えよう！～乳がん・肺がん編～」です。たばこを吸う喫煙者だけでなく、煙を吸った周りの人への影響や危険性を学びます。

自己検診によって発見されることの多い乳がん。正しい自己検診の方法を学びます。今後も様々なテーマを扱っていきます。個別のご相談にも対応するので、ぜひお越しください。



わたしたちの想い、あなたに届け！

国際医療福祉大学成田キャンパスのボランティアサークルが行っていた「アフガニスタンの子どもたちにランドセルを送ろう！」に回収場所として協力しました。使わなくなったランドセルがそのまま捨てられるのはもったいない、と思った大学生が有効活用できないか、まわりの人に相談し、たどりついたのがアフガニスタンに送ることでした。2月と3月の2ヶ月で255個のランドセルが集まりました。色とりどり、さまざまなランドセルが集まりました。中には親御さんが持ってきてしまい、お子さんがきちんとお別れできていないと後日お別れをしに来たお子さんもいました。アフガニスタンの子どもたちに大切に使えるところでしょう。



ホールに響き渡る澄んだ歌声！

5月25日(金)2階 MORI×MORI ホールで、「ラララ♪歌のひろば」が行われ、たくさんの方が歌謡曲や童謡などさまざまな歌をうたい、楽しんでいました。

「ラララ♪歌のひろば」はラララ花木との共同事業で、前方のスクリーンに映し出された歌詞を見ながら、お腹から大きな声を出したり、軽い体操を行って、健康意識を高めようという取り組みです。ラララ花木は、福祉館などでも同様



の活動を行っており、観客をひきつけるのに時間はかかりませんでした。途中、曲にあわせて衣装したり、朗読のコーナーがあったりとさまざまな方法で観客を楽しませていました。次回は2月15日に開催予定。

図書館だより

Public Library

2013(平成 25)年に開館した成田市立図書館公津の杜分館は、今年の7月に5周年を迎えます。たくさんの方に足を運んでいただき、利用者数は5年間を通して 35 万人を超えました。今後も皆さんの暮らしに役立つ図書館を目指して励んでまいりますので、ぜひご利用ください。

リサイクル本コーナー

1月から、入口近くにリサイクル本コーナーを設けています。営利を目的としない個人での利用に限り、1人5冊まで持ち帰っていただけます。図書館で役目を終えた古い本たちですが、思わぬ1冊との出会いがあるかもしれません。気になる本があったら、ぜひ手に取ってみてください。



おはなし会

図書館では毎月 2 回、火曜日の午後 3 時におはなし会で「社のおはなしかい」を開催しています。絵本を読んだり、わらべうたをして遊ぶ楽しい会です。おはなしかいカードにスタンプを 10 個集めると、図書館からプレゼントをさしあげます。皆さんのご参加をお待ちしています。(ひとりでもお楽しみ～小学生まで)



なかよしひろばだより

Children Space

ひろばのお楽しみ会&誕生日会

毎月開催している誕生日会では、ひろばにいる皆さんと『誕生日おめでとう』の歌を歌い、手作りのお誕生日カードを渡して、その月がお誕生日のお子さんをお祝いしています。キラキラの冠をかぶって皆の前に並んだお子さんたちはもちろん、ママやパパもとても嬉しそうに参加しています。



誕生日会に続いてのお楽しみ会は毎月様々なテーマで開催しています。4月のテーマは「出会いと春」。『チューリップ』『ちょうちょう』など春の歌のパネルシアターや、こいのぼりのペープサートを楽しみました。

親子で楽しそうに一緒に歌ったり、踊ったりしました。手あそびや子どもたちの大好きな「はらぺこあおむし」の大型絵本も音楽に合わせて楽しみ、春が訪れた喜びを感じられるお楽しみ会になりました。誕生日会で渡すカードはスタッフやひろばに遊びに来ているママたちが作っています。簡単な作業でどなたでも参加できますので、一緒に作ってみませんか？気軽にひろばのスタッフに声をおかけ下さい。



和のこころを学ぶ茶道体験教室



3月4日(日)に「茶道体験教室」が行われ、小さいお子さんを含めた 22 名の方が日本の「お・も・て・な・し」を学びました。もちろんあこうづには和室がありませんが、会議室に簡易の畳を敷き、即席ながら立派なお茶室ができあがりました。表千家不白流教授 西澤実良子さんに茶室への入室方法からお菓子の戴き方、お茶のたて方、退出までの作法を丁寧に解説して頂きながら学びました。はじめての体験で、緊張ながら表情がかたいお子さんもありましたが、動作の理由をひとつひとつ教わりながら、丁寧にこなしていきまいた。長い時間にわたり正座をしていたため、足がしびれた子どもが多く見受けられました。

★ おまけの 1 枚 ★

春が来て、グリーンボランティアの活動が再開しました。4月の活動では高校生の男子が参加してくれました。草花を通じて、世代を超えた多くのボランティアの方々の交流が生まれています。

■■■■ 編集後記 ■■■■

日本一チケットが取れないことで有名な劇団の公演を見ました。団員の素が面白くことを TV で知っていたので、真面目に演技する姿が面白く、話が入ってこない場面も。それ以外にも職業病なのか、照明や舞台装置に目がいてしまう、ライブや演劇を生で鑑賞するのは向かないのか… (K)

何年前のこと、来館された折りに二人でいる時間があった。「少年の頃に『ネロ』を知らずにいれば、カミヤ『チボレ』を読むのはずっと後になっていたでしょう」と話したら、詩人は静かに微笑んだ。何万人もから同じことを言われたよ、と語っているかのように。(T)

公津の杜コミュニティセンター

(指定管理者 アクティオ株式会社)

発行人：田村 修 編集：鹿嶋 聡明

〒286-0048 千葉県成田市公津の杜 4 丁目 8 番地

TEL 0476-27-5252 FAX 0476-27-5353

E-mail info-kozu@morinpiakozu.jp

HP <http://www.morinpiakozu.jp/>

もりんぴあ
あこうづ
Morinpia Kozu